

体育は  
何のため  
に何を  
教える  
のかを  
追究し  
てきた  
こと



## 教育学部会

5月31日(日)

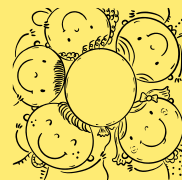
10時～12時

オンライン

体育は何のために何を教える教科なのか  
学校体育研究同志会が追求してきたこと

### 教育学部会 5月例会

報告者：森敏生（武蔵野美術大学）



コンピテンシー・ベースの資質・能力論が教科の本質と意義を問うています。学校体育研究同志会はこれまで一貫して体育の本質と存在意義について追求してきました。典型的な実践にふれながら、体育は何のために何を教える教科なのかを論じてみたいと思います。

教育

教育科学研究会

教育科学研究会  
教育学部会

zoomによるオンライン

教育科学研究会会員は、無料  
非会員は、1000円となります。  
非会員大学院生は、500円です。

お申込み Peatix

Peatix申し込み後、  
zoomのIDとパスコードを  
送らせていただきます。

<https://peatix.com/event/4963179>





# 教育学部会 について



教育学部会は、教科研の「教育実践に即した理論の展開」「教育実践から生まれた課題の理論化」の営みを、会員に還元しながら、全国各地の学校・教師、保護者、市民の子育て・教育の営みを励まし、応援する学習会です。＜深める＞企画と、＜広げる＞企画の両方をバランスよく組んでいきます。

## これまでの活動と今後の例会予定

2025 6/22(日)	坂元忠芳の教育学研究の跡を辿って——否定の中に肯定をみることの意義—— 報告者：宮島基さん（沖縄大学） 坂元忠芳の教育学研究におけるドストエフスキー問題 -なぜ「人間の悪」が問題か- 報告者：佐藤広美さん（東京家政学院大学名誉教授） 「否定的な状況のなかに、未来の肯定的な状況の萌芽をみてとる」について
11/16(日)	報告者：石垣雅也さん（北海道教育大学） 教育実践における子どもの事実と指導について
12/21(日)	報告者：仲田康一さん（法政大学） 学習指導要領改訂動向を見据えて—教育DX化は学校と授業をどう変えようとしているか（仮）
2026年 3/8(日)	報告者：三谷高史さん（宮城教育大学） 日本の戦後教育と〈地域〉 様々な「問題」に教師はどう向き合ったのか
<b>NEW!</b> 5/30(日)	報告者：三谷高史さん（宮城教育大学） 日本の戦後教育と〈地域〉 様々な「問題」に教師はどう向き合ったのか

今後の予定や、公演の内容がかわることがあります。最新情報については、教科研公式HPにてご覧ください。



教育科学研究会  
〒162-0818 東京都新宿区築地町19小野ビル2階  
[kyoukaken@nifty.com](mailto:kyoukaken@nifty.com)

お申込み Peatix

Peatix申し込み後、  
zoomのIDとパスコードを  
送らせていただきます。

